

市民会館におけるネーミングライツ期間満了に伴う更新について

市民会館では、平成 26 年1月からネーミングライツを導入しているが、令和6年3月に期間満了を迎えるにあたり、当該施設においては税外収入確保の観点から、引き続きネーミングライツを活用していきたい。スポンサー事業者の選定については、次の使用期間が「市民会館のあり方」を検討するための暫定的な運用期間となることや、愛称が頻繁に変わることによる市民や利用者への混乱を避けるため、命名権料を現在と同額以上とすることで現スポンサー事業者による特命・非公募での継続としたい。

1. 現在のネーミングライツの基本情報

施設名称	立川市市民会館
所在地	立川市錦町3丁目3番 20 号
事業者	多摩信用金庫
愛 称	たましんRISURUホール(たましんリスルホール)
使用期間	平成 26 年1月から令和6年3月まで(10 年3か月)
命名権料	年額:1,000 万円(期間合計:1億 250 万円)

2. 更新にあたっての基本的な条件

事業者	多摩信用金庫
使用期間	令和6年4月から令和 11 年3月まで(5年) ※指定管理者の次期指定期間と合わせる
命名権料	年額 1,000 万円以上(現在と同額以上を予定)
選定方法	現スポンサー事業者による <u>特命・非公募</u> とする
特命・非公募とする理由	<p>市民会館は、令和5～8年度までの間に、平成 22 年度に策定した「旧庁舎周辺地域グランドデザイン」に基づき、「施設のあり方」を検討・策定することとなっている。また、施設のあり方を踏まえた新たな運用開始までの期間を、暫定的な運用とする予定である。そのため、施設を管理運用する指定管理者については、指定期間を現在より短い5年とした上で、特命・非公募により事業者を選定する方針である。</p> <p>ネーミングライツについても当該期間中の愛称変更による市民や利用者の混乱を避けるため、現スポンサー事業者による特命・非公募での継続としたい。なお、使用期間を指定管理者の指定期間と合わせて5年間とすることで対応したい。</p>

3. 命名権料の活用

命名権料の使途	<p>現在、毎年 1,000 万円の命名権料を受けており、『ファーレ立川アート管理委員会』や『立川シアタープロジェクト実行委員会』の財源として活用している。</p> <p>【財源充当先(年額)】</p> <p>① ファーレ立川アート活用推進事業補助金 7,000,000 円</p> <p>② ファーレ立川アート維持管理市負担金 1,000,000 円</p> <p>③ 立川シアタープロジェクト実行委員会負担金 2,000,000 円</p> <p>【各委員会の予算規模(命名権料の比率)】</p> <p>・ファーレ立川アート管理委員会(①・②) 10,000,000 円(80%)</p> <p>・立川シアタープロジェクト実行委員会(③) 5,000,000 円(40%)</p>
---------	--

4. 今後のスケジュール(予定)

時 期	内 容
令和5年 10 月～12 月	・スポンサー事業者と更新に関する協議
令和6年1月頃	・協定締結
令和6年4月～	・ネーミングライツの新使用期間の開始

